

1. 共通機能

項番	分類	機能要件	重要度
1	画面構成・表示機能	業務システムの作業ウィンドウは、複数起動することができること。	○
2		画面の解像度によらず、全画面表示が可能なこと。	○
3	対象者の検索機能	フリガナ、生年月日、住所、所属自治会、担当民生委員、所属防災組織、居住地区、電話番号から対象者の検索ができること。	◎
4		フリガナによる検索の場合、先頭一致だけでなく、部分一致による検索が可能であること。	◎
5		生年月日による検索の場合、和暦と西暦のいずれかが選択できること。	◎
6		検索の結果、対象者が避難行動要支援者となった要件が表示されること。	◎
7		頻繁に使用する検索の場合は、検索条件の登録が可能であり、即時抽出が可能であること。 また、CSV出力も可能であること。	○
8		検索結果後にCSV出力した際、タイトル項目も出力され、加工作業の効率化が図られていること。	○
9	操作性の向上	保存や印刷、終了などにファンクションキーを割り当て、簡単な操作が可能なこと。	○
10		画面のハードコピー印刷は簡単な手順（2手順以内）で行えること。	

2. 名簿作成機能

項番	分類	機能要件	重要度
1	避難行動要支援者名簿自動作成機能	本市の避難行動要支援者該当要件が設定可能であり、住基、介護認定、障害者手帳等のデータを取り込むことで、その対象者を抽出し、自動的に避難行動要支援者名簿へ登載することができること。	◎
2		本市の要配慮者該当要件が（変更・追加含め）設定可能であり、項番1と同様に、その対象者を管理することが可能であること。	◎
3		台帳登録については要配慮者（外国人、妊産婦などの名簿未登録者を含む）と避難行動要支援者（手上げ方式の台帳登録者）の登録・管理ができること。	◎
4		避難行動要支援者対象要件の除外対象者を手上げ等の理由により台帳登録する場合は手入力ができること。	◎
5		台帳登録については、避難行動要支援者からの同意・非同意・未確認の区分設定ができ、リストとして抽出できること。	◎

6		同意区分について、一括入力できる処理を備えていること。	◎
7		台帳登録者本人に関しては登録日、氏名、フリガナ、性別、生年月日、年齢、個人コード、住基上の住所、居住地、自治会、固定電話、携帯電話、FAX、メールアドレス、緊急連絡先、同意区分、世帯状況、高齢者、障害者等の区分、医療機関、避難場所、民生委員、協力員（支援者）、支援内容、特記事項、備考の入力・表示が可能なこと。	◎
11		地図システムと連携し、対象者の住所から自動的に座標を取得することができること。また、その座標を手入力で修正可能なこと。	
12		民生委員、自治会、自主防災組織、消防団の担当エリアを自由に設定でき、情報から、避難行動要支援者の座標が特定された時点で、それぞれが自動的に判定されること。	
13		住基データを取り込む際、住基上の住所から電子地図上の座標を自動的に取得することが可能なこと。	
14		新規転入者、市内転居者についても、電子地図上の座標を自動的に取得することが可能なこと。	
15		住基データを取り込む際、項番12の処理が自動的に行えること。	
16		住基上の住所とは別に、現住所が登録できること。	◎
17		住基上の住所、現住所とは別に、通知書等を発送するための、送付先住所が登録可能なこと。また、宛名も別に保持すること。	◎
18		避難行動要支援者台帳の内容を編集した場合、上書き保存又は履歴保存いずれかを選択できること。	○
19		履歴情報管理ができ、過去の情報が閲覧できること。また、履歴情報が、統計資料に反映されること。	○
20		避難行動要支援者の区分とは別に、任意の拡張項目を10項目以上設定できること。	○
21		避難行動要支援者の区分とは別に、任意で身体区分を設定できること。	△
22		避難行動要支援者の区分とは別に、平常時に見守り支援が必要であることの区分が設定できること。	
23		付箋区分（メモ機能）を設定でき、留意すべき点を簡単に記録できること。	○
24		PDFファイルに変換された、本人または代理人（家族・民生委員等）から受領した台帳登録申請書（申込書）を、台帳と関連付けてシステム内で管理できること。	
25		住基データを取り込む際、対象者の世帯が、独居高齢、高齢のみ世帯、独居世帯、同居世帯の区分で自動判定されること。	○
26		避難行動要支援者照会画面を準備すること。なお照会画面から台帳や支援記録が見えること	○

27		登録した要支援者及び要配慮者の登録データはCSVデータ等で切り出し可能であること。	◎
----	--	---	---

3. 個別避難支援計画作成機能

項番	分類	機能要件	重要度
1		個別避難支援計画作成済み・未作成の管理ができ、作成済みの場合は作成日が登録できること。	◎
2		避難行動要支援者の住宅の家屋図や就寝場所等の作成及び任意の文字入力ができること。また、図の作成を支援するプログラムを備えること。	△
3		任意の画像（個人に関連した家屋間取り等）の取り込み・管理が可能であること。	△
4		避難経路図を作図でき、複数の経路が色分けされて登録できること。	
5		避難経路図には避難行動要支援者本人、民生委員、協力員（支援者）、避難場所、緊急連絡先が台帳登録情報から自動的に表示されること。	
6		世帯員は5名登録することができ、住基データを取り込む際、自動的に記載されること。	◎
7		緊急連絡先は3件以上登録することができ、住基を検索して登録することが可能なこと。	◎
8		協力員（支援者）は3件以上登録することができ、個人・団体のいずれも登録可能なこと。個人の場合は住基を検索して登録することが可能なこと。	◎
9		避難場所は5件登録することができること。	◎
10		地震、洪水など災害種別ごとに避難所の登録ができること。	○
11		対象者の所在地区から、避難場所候補が表示されること。	◎

4. 帳票出力機能

項番	分類	機能要件	重要度
1		避難行動要支援者台帳の入力画面から、避難行動要支援者台帳を帳票として印刷できること。	◎
2		避難行動要支援者名簿登録のための、登録申請書が出力できること。また、本人確認署名欄・代理人確認署名欄が表示できること。	◎
3		個別の避難支援計画を帳票として印刷できること。	◎
4		名簿作成機能により、自動的に名簿登録された対象者に対して、同意書の発行処理が行えること。	◎
5		項番4について、未返信者については文面を変えて送ることから、同意書発行済み・未発行の管理が可能であること。	◎

6		台帳登録者に対して、台帳登録完了通知書を発行できること。	
7		協力員（支援者）に対して、支援者登録完了通知書を発行できること。	
8		台帳情報から避難行動要支援者を中心とした支援者のネットワークが記載されている防災カードを自動で作成できること。また、様式についてはA4縦・横、携帯用サイズで出力できること。	◎
9		避難行動要支援者名簿が、一覧表として出力可能であること。	◎
10		地区別登録者一覧表が出力できること。	◎
11		民生委員別登録者一覧表が出力できること。	◎
12		福祉専門委員別登録者一覧表が出力できること。	
13		自治会別一覧表が出力できること。	◎
14		自主防災組織別一覧表が出力できること。	◎
15		避難場所別一覧表が出力できること。	◎
16		サロン別登録者一覧表が出力できること。	
17		医療機関別登録者一覧表が出力できること。	
18		対象区分別登録者一覧表が出力できること。	
19		協力員（支援者）一覧表が出力できること。	
20		協力員（支援者）別登録者一覧表が出力できること。	
21		障害者別登録者一覧表が出力できること。	◎
22		要介護度別登録者一覧表が出力できること。	◎
23		各一覧表は、用紙サイズ、出力順序、地区範囲、対象者範囲、避難行動要支援者判定区分、同意区分、世帯区分、身体区分、拡張項目区分での出力条件が設定可能であること。	◎
24		各一覧表は、その出力対象者情報が宛名ラベルとしても出力できること。 また、CSV形式で出力できること。	
25		宛名ラベルには、カスタマーバーコードを印字することが可能であること。	

26		各一覧表は、両面印刷する際、改ページが奇数枚の際に白紙ページを追加して、正常にその目的を達成する印刷物として出力できる機能を有すること。	◎
27		各一覧表は、登録者番号、情報記載日、氏名、フリガナ、行政区、民生委員、住所の条件でソート（昇順・降順）できること。	△
28		各一覧表には、対象者の同意・不同意が印字されること。	△
29		世帯区分別集計表が出力できること。	
30		世帯区分年齢別集計表が出力できること。	
31		世帯区分年度別集計表が出力できること。	
32		身体区分別集計表が出力できること。	△
33		民生委員別集計表が出力できること。	
34		福祉専門員別集計表が出力できること。	
35		自治会別集計表が出力できること。	
36		自主防災組織別集計表が出力できること。	
37		拡張項目別集計表が出力できること。	
38		登録者数月別推移表が出力できること。	◎
39		登録者統計資料が出力できること。	
40		地区別統計資料が出力できること。	
41		統計資料については、その統計要素をCSV形式で出力できること。	
42		統計資料については、集計結果が「0」となる項目について、印字する・しないの設定が可能であること。	
43		要配慮者台帳の登録者を地区範囲（地区、担当民生委員等）、外国人、妊産婦、乳幼児、難病患者など指定項目別に一括出力できること。	◎
44		行政内部確認用と地域本人提供用で出力パターンを分け、出力対象者が制限できること。（例：HIVで身体障害者手帳保持者であっても地域に渡すリストには表示しないなど）	◎

5. 地図出力機能

項番	分類	機能要件	重要度
1		地図表示の縮尺はマウススクロールで出来ること。また、画面移動はマウスドラッグでできること。	
2		地図画面上に表示された避難行動要支援者を指定（ダブルクリック）して避難行動要支援者台帳が閲覧及び印刷できること。	
3		地図画面上に表示された避難行動要支援者等の情報は、その内訳ごとの件数が表示されること。	
4		同意・不同意・未処理ごとに地図を出力することができること。同意者出力については、個別避難支援計画作成済・未作成別で出力できること。	
5		郵便番号・住所・目標物から地図の検索ができること。	
6		建物・道路・住居情報等が容易に編集できること。	
7		対象者を指定して、その台帳情報から民生委員・協力員・緊急連絡先・避難場所を電子住宅地図上に表示・印刷できること。	
8		登録者の分布図を表示・印刷できること。	
9		民生委員を指定し、担当している避難行動要支援者を表示・印刷できること。同時に、担当エリアも表示・印刷できること。	
10		民生委員の分布図を表示・印刷できること。同時に、それぞれの担当エリアも表示・印刷できること。	
11		福祉専門員を指定し、担当している避難行動要支援者を表示・印刷できること。同時に、担当エリアも表示・印刷できること。	
12		福祉専門員の分布図を表示・印刷できること。同時に、それぞれの担当エリアも表示・印刷できること。	
13		自治会を指定し、所属している避難行動要支援者を表示・印刷できること。同時に、担当エリアも表示・印刷できること。	
14		自治会の分布図を表示・印刷できること。同時に、それぞれの担当エリアも表示・印刷できること。	
15		自主防災組織を指定し、担当する避難行動要支援者を表示・印刷できること。同時に、担当エリアも表示・印刷できること。	
16		自主防災組織の分布図を表示・印刷できること。同時に、それぞれの担当エリアも表示・印刷できること。	
17		地区単位（行政区単位）での避難場所と避難行動要支援者等が表示・印刷できること。	
18		避難場所を指定し、地図上に表示・印刷できること。同時に、避難行動要支援者を表示・印刷できること。	

19		避難場所分布図が表示・印刷できること。	
20		危険地域を指定し、地図上に表示・印刷できること。同時に、避難行動要支援者を表示・印刷できること。	
21		危険地域の分布図が表示・印刷できること。	
22		地図出力機能においては、地区、世帯区分、身体区分、避難行動要支援者判定区分、同意区分、拡張項目区分別の条件設定が可能であること。	
23		社会資源を指定し、地図上に表示・印刷できること。	
24		社会資源の分布図が表示・印刷できること。	
25		危険地域と社会資源を同時に地図表示・印刷できること。また、任意の距離でメッシュが描画できること。	
26		地図に表示するために座標を取得する必要があるものは、座標一致範囲設定（完全一致、地番一致、大字一致など）により一括座標取得ができること。	
27		ハザードマップ等の S h a p e 形式データを取り込めること。	

6. 安否確認機能

項番	分類	機能要件	重要度
1	災害時安否確認処理	地図表示画面に半径（距離）を指定して円を描画する、任意で多角形を描画する等で範囲を指定し、描画した範囲内に含まれる対象者が抽出可能であること。また、その一覧表が出力できること。	
2		あらかじめ登録した危険地域地図情報から災害区分を指定し、その範囲内に含まれる対象者が抽出可能であること。また、その一覧表が作成できること。	
3		安否確認用に、条件を指定した対象者（要支援者・要配慮者）の一覧表を表示・印刷できること。	◎
4		災害ごとの安否確認対象者の未確認・確認済・不明が入力でき、各件数の統計ができること。また、確認の場合は確認者・確認日の記録が可能なこと。	◎
5		日時・担当者を指定でき、対象者ごとに安否確認状況が入力可能であること。	◎
6		安否確認状況入力画面では、氏名・生年月日・電話番号・連絡先・協力員・避難場所等が表示でき、安否確認済の場合はその日時・担当者が表示・印刷できること。	◎
7		災害ごとに、避難場所別に未確認・確認済・不明の集計表が出力できること。	◎
8		抽出した安否確認対象者が地図上に表示でき、未確認・確認済・不明ごとに色分け表示できること。	
9	平常時安否確認処理	認知症徘徊等による、検索対象者の登録ができること。	

10	平常時安否確認処理	徘徊等発生時の情報として、行方不明時の時間、場所、状況、本人特徴（身長、体型、頭髪、その他）、服装、携行品、意思疎通の可否、備考が登録できること。	
11		発見時の情報として、時間、場所、発見者、発見時の状況と経緯が登録できること。	
12		捜索協力機関及び協力者の登録ができること。	
13		地図表示画面に半径（距離）を指定して円を描画する、任意で多角形を描画する等で範囲を指定し、描画した範囲内に含まれる捜索協力機関及び協力者が抽出可能であること。また、その一覧表が出力できること。	
14		項番13で抽出した捜索協力機関及び協力者に対して、FAX等で送信するための捜索協力依頼書が出力できること。	
15		項番13で抽出した捜索協力機関及び協力者に対して、FAX等で送信するための捜索協力解除連絡書が出力できること。	
16		項番14の様式について、タイトル、宛先名、差出名、捜索依頼文、連絡先が任意に登録できること。	
17		項番15の様式について、タイトル、宛先名、差出名、解除連絡文、発信元が任意に登録できること。	
18		過去の捜索実績が確認できる一覧表が出力できること。	
19	過去の捜索実績から、任意の期間を指定して、月別に件数の集計ができること。また、延べ件数及び実件数の集計が可能であること。		

7. 平常時支援機能

項番	分類	機能要件	重要度
1		日時や訪問内容が明確に記録でき、支援者の特定ができること。	
2		任意の対象者を指定し、支援記録一覧表を表示・印刷できること。	
3		支援回数を指定し、対象者の支援回数確認表が表示・印刷できること。	
4		支援の内容や行動区分ごとの統計が、表示・印刷できること。	
5		サロン活動（ミニデイ等）の登録ができ、対象者、人数、開催場所、運営主体、活動責任者、活動分類等が管理できること。	
6		サロンの活動実績が登録でき、実施日や参加者等が入力できること。	
7		サロン活動の実績が支援記録へ自動的に反映されること。	
8		サロン活動の実績表、活動明細表、活動内容明細集計表が出力できること。	

9		サロン活動実績報告書が出力できること。	
---	--	---------------------	--

8. マスタ管理機能

項番	分類	機能要件	重要度
1		民生委員マスタを備え、氏名、フリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、担当地区、対象世帯、任期、表彰履歴が管理できること。	◎
2		民生委員マスタは、住基を検索して登録できること。	◎
3		民生委員マスタには、その担当エリアが電子地図上で描画できること。また、民生委員の座標が保持できること。あわせて、担当エリアから、自動的に避難行動要支援者を判定すること。	
4		民生委員一覧表を表示・印刷できること。	◎
5		民生委員マスタの情報を、CSV形式でファイルに出力可能であること。また、CSV形式ファイルを取り込み、マスタ情報の更新が行えること。	○
6		民生委員改選時、再選した民生委員の任期更新が一括で行えること。	◎
7		民生委員改選時、交代する民生委員の担当避難行動要支援者情報が、一括で更新可能であること。その際、履歴を作成し、過去の情報として保持すること。	◎
8		自治会マスタを備え、自治会名、フリガナ、自治会町名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、担当地区が管理できること。	◎
9		自治会長マスタは、住基を検索して登録できること。	◎
10		自治会マスタには、その担当エリアが電子地図上で描画できること。また、自治会長の座標が保持できること。あわせて、担当エリアから、自動的に避難行動要支援者を判定すること。	
11		自治会一覧表を表示・印刷できること。	◎
12		自治会マスタの情報を、CSV形式でファイルに出力可能であること。また、CSV形式ファイルを取り込み、マスタ情報の更新が行えること。	○
13		協力員（支援者）マスタを備え、協力員（支援者）種類、氏名、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、所在地区が管理できること。	△
14		協力員（支援者）が団体の場合、代表者名、電話番号が登録できること。	
15		協力員（支援者）一覧表を表示・印刷できること。	
16		福祉専門員マスタを備え、氏名、フリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、担当地区が管理できること。	
17		福祉専門員マスタは、住基を検索して登録できること。	

18		福祉専門員マスタには、その担当エリアが電子地図上で描画できること。また、福祉専門員の座標が保持できること。あわせて、担当エリアから、自動的に避難行動要支援者を判定すること。	
19		福祉専門員一覧表を表示・印刷できること。	
20		福祉専門員マスタの情報を、CSV形式でファイルに出力可能であること。また、CSV形式ファイルを取り込み、マスタ情報の更新が行えること。	
21		自主防災組織マスタを備え、防災組織名、フリガナ、代表者名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、担当地区が管理できること。	◎
22		自主防災組織マスタは、住基を検索して登録できること。	◎
23		自主防災組織マスタには、その担当エリアが電子地図上で描画できること。また、自主防災組織の座標が保持できること。あわせて、担当エリアから、自動的に避難行動要支援者を判定すること。	
24		自主防災組織一覧表を表示・印刷できること。	○
25		自主防災組織マスタの情報を、CSV形式でファイルに出力可能であること。また、CSV形式ファイルを取り込み、マスタ情報の更新が行えること。	○
26		避難場所マスタを備え、避難場所区分、災害区分、名称、フリガナ、住所、電話番号、収容人数が管理できること。	○
27		避難場所一覧表を表示・印刷できること。	○
28		社会資源マスタを備え、社会資源区分、名称、フリガナ、住所、地区、電話番号、FAX番号、担当者、除外区分が管理できること。	△
29		社会資源一覧表を表示・印刷できること。	△
30		危険地域マスタを備え、名称、危険度、災害分類、地区が管理できること。	◎
31		危険地域マスタには、そのエリアが電子地図上で描画できること。また、そのエリアから、自動的に避難行動要支援者を抽出することが可能であること。	

9. その他機能

項番	分類	機能要件	重要度
1	初期セットアップデータ	システムの初期セットアップデータとして既存の要支援者台帳Excelデータを提供するので提案システムにセットアップすること。	○
2	データ連携機能	既存の「災害時避難行動要支援登録者名簿（別紙）」で管理している名簿を、新システムの避難行動要支援者名簿に取り込むことができること。	◎
3		住民基本情報、介護情報、障害情報などのCSVデータは、パッケージシステム内でレイアウト変換処理ができること。	◎
4		住民基本情報、介護情報、障がい情報などのCSVデータは、全件取込、差分取込いずれかの選択ができること。	◎

5		住民基本情報を取り込みし、異動情報を台帳に反映できること、また、緊急連絡先、協力員（支援者）、民生委員、福祉専門員、自治会等の情報も、異動情報が反映できること。	◎
6		住民基本情報、介護情報、障害情報などのCSVデータを取り込む際、それらの異動情報を履歴として保持すること。	◎
7		住民基本情報、介護情報、障害情報などのCSVデータは、それぞれS-JIS、Unicodeの文字コード双方の取り込みが可能なこと。	◎
8		名簿作成機能等において、座標を一括取得処理を実施したが、座標の取得ができなかった対象者を一覧表に出力できること	
9		社会資源マスタで、除外区分が設定された社会資源の住所に該当する対象者を、一括で名簿から廃止する処理が行えること。	△
10	認証機能	ID、パスワードによる認証機能を実装していること。	◎
11		IDごとの権限設定が、台帳登録・修正・削除・印刷レベルで管理でき、その権限設定もシステム管理者が容易に変更可能であること。	◎
12		IDごとの権限設定により、住基検索、同意・不同意、障がい者情報制限などの情報閲覧制限が設定できること。	
13		IDは直接入力式、ドロップダウンリスト選択式のどちらかが選択できること。	
14		次回システム起動時、前回ログインしたIDを初期値として保持すること。	
15		パスワードの有効期限を任意で設定できること。	◎
16		操作ログが確認できること。（ログインID、操作日時、操作内容等）	◎
17	EUC機能	各帳票は、エクセル形式(CSV形式)やPDF形式変換が可能であること。	◎
18		基準日を指定し、避難行動要支援者名簿をCSV形式で出力できること。また、出力する項目を自由に指定できること。	◎
19		項番18で出力するデータ項目を、パターンとして複数登録可能であること。	◎